

授業科目 NO. 405 精神看護学方法論

Psychiatric and Mental Health Nursing

授 業 の 形 態 : 演習

単位数 (時間数): 1 単位 (30 時間)

開講年次・学期: 2 年次・後期

必修・選択の別: 必修

キ ー ワ ー ド : 精神看護、セルフケア、リカバリー、援助的關係、権利擁護、ピアサポート、地域生活支援

1 金沢医科大学看護学部への到達目標 (全科目共通です)

- ① 豊かな人間性と倫理観
- ② 看護学の知識と技術、及び実践力
- ③ 地域志向を視野に入れた専門性の獲得
- ④ 生涯学習能力
- ⑤ 国際的視野の獲得

2 学 習 目 標

1) 一般目標 (GIO)

精神障害や症状を生物的側面、心理的側面、社会的側面から全人的に理解し、対象の生きづらさや精神を病むことの意味を理解することができる。また、その上で、精神障害をもつ人および家族の生きづらさの緩和、セルフケアの向上、ストレスの発見、生活の再構築、生きることへの希望の再獲得などを援助することができるよう、必要な知識・技術を修得することができる。

2) 行動目標 (SBO) ※カッコ内の数字は上記の金沢医科大学看護学部への到達目標との関連を示す。

- (1) 精神看護学では、どのような対象にどのような視点や姿勢を持って看護実践を行うのか説明できる。(①②)
- (2) セルフケア理論の枠組みを活用して、対象のセルフケアをアセスメントできる。(②)
- (3) 精神障害による身体的・心理的・社会的側面への影響をアセスメントできる。(②)
- (4) 精神障害をもつ人と家族の生きづらさの緩和、セルフケアの向上、ストレスの活用、生活の再構築、生きる希望の再獲得を目指した看護援助を説明できる。(②)
- (5) 精神障害をもつ人と家族が社会参加（就労、地域の人々との交流など）を促進するための看護援助や多職種連携のあり方を説明できる。(②③)
- (6) 精神障害をもつ人の体験談を傾聴する体験を踏まえて、当事者の視点に立って、精神疾患の受け止め方、付き合い方を理解することがなぜ重要なのか考察できる。(②)
- (7) 精神障害もつ人のセルフヘルプグループやピアサポート活動を説明できる。(②)
- (8) 精神医療で行われている治療法の目的・方法を理解し、精神障害をもつ人の回復を促進するための看護師の役割を説明できる。(②)

3 学 習 内 容

授業の内容については、授業計画に示す。

4 評 価

評価項目	評価割合
定期試験成績	60%
レポート	40%
小テスト	%
その他	%
合計	100%

(特記事項)

5 教 育 担 当 者

科目責任者：大江 真人

教 授 長山 豊 (精神看護学)
 准 教 授 大江 真人 (精神看護学)
 講 師 新井 里美 (精神看護学)
 助 手 山口 千夏 (精神看護学)
 非常勤講師 生田 克実

6 教育担当者の実務経験

担当教員（大江、長山、新井、山口）は、精神科病棟における看護師としての実務経験を有している。

7 教 科 書

- 1) 武井麻子編：系統看護学講座 専門分野Ⅱ 精神看護学 1 精神看護の基礎、医学書院、2021
- 2) 武井麻子編：系統看護学講座 専門分野Ⅱ 精神看護学 2 精神看護の展開、医学書院、2021

8 推 薦 参 考 書

安保寛明、武藤敦志：コンコーダンス 患者の気持ちに寄り添うためのスキル 21、医学書院、2010
 その他、必要時は講義中に紹介します。

9 準備学習に必要な時間及び具体的な学修内容

授業 1 コマにつき、事前学修・事後学修として計 90 分程度必要です。自己学修は、以下の教科書該当ページを参考にしてください。

1 回目：精神看護学 1 第 1 章 A、B、E、精神看護学 2 第 9 章

2-3 回目：精神看護学 2 第 8 章 A、B、C、D

4 回目：精神看護学 1 第 6 章

5-8 回目：精神看護学 1 第 5 章、6 章、精神看護学 2 第 11 章、第 13 章

9-11 回目：精神看護学 1 第 5 章、6 章、精神看護学 2 第 9 章、第 11 章、第 13 章

12-13 回目：精神看護学 2 第 10 章 A、B、C

14 回目：精神看護学 1 第 4 章 C、精神看護学 2 第 9 章、第 10 章

15 回目：精神看護学 1 第 1 章、精神看護学 2 第 10 章

10 課題（試験やレポート等）に関するフィードバック

- 1) 看護過程のレポートについては、授業でフィードバックを行う。
- 2) 試験問題と採点結果は、閲覧期間を設けて解答例を提示するため、希望する学生は申し出る。

11 履修上の注意事項

- 1) 授業内容に対する疑問・質問等は、積極的にいきましょう。授業中、または、授業後に担当教員と積極的に話し合い、学修内容を深めてください。
- 2) グループワークで意見交換する際には、時間を有効に活用できるよう主体的に話し合い、学生同士で協力し合って、課題に取り組みましょう。

12 オフィスアワー等

質問は随時受け付けますが、事前にメール等で連絡してください。

大江・山口 (oemasato@kanazawa-med.ac.jp)

長山 (naga-y@kanazawa-med.ac.jp)

新井 (s-arai@kanazawa-med.ac.jp)

第2学年

精神看護学方法論

学期	回数	開講日	時限	区分	講義・実習内容	レポート/小テスト等	講座・科目群名	教員名
後	1	10月01日(火)	2	講義	精神看護学とは、リカバリー、ストレングス、レジリエンス		精神看護学	大江准教授
後	2	10月08日(火)	2	講義	精神看護のケアとしての人間関係		精神看護学	大江准教授
後	3	10月09日(水)	4	講義	精神科医療における支援技術①ケアを展開するためのコミュニケーション技術		精神看護学	大江准教授
後	4	10月15日(火)	2	講義	精神科医療における支援技術②治療的環境、安全と人権擁護		精神看護学	大江准教授
後	5	10月22日(火)	2	講義	精神疾患／障害をもつ人への看護①うつ病、躁うつ病		精神看護学	大江准教授
後	6	10月29日(火)	2	講義	うつ病、躁うつ病をもつ人の看護過程とセルフケアモデル(1)		精神看護学	大江准教授
後	7	11月05日(火)	2	講義	うつ病、躁うつ病をもつ人の看護過程とセルフケアモデル(2)		精神看護学	大江准教授, 山口助手, 新井講師, 長山教授
後	8	11月25日(月)	3	講義	うつ病、躁うつ病をもつ人の看護過程とセルフケアモデル(3)	レポート	精神看護学	大江准教授, 山口助手, 新井講師, 長山教授
後	9	12月02日(月)	3	講義	精神疾患／障害をもつ人への看護②統合失調症		精神看護学	新井講師
後	10	12月09日(月)	3	講義	統合失調症をもつ人の看護過程(1)		精神看護学	新井講師, 山口助手, 大江准教授, 長山教授
後	11	12月16日(月)	3	講義	統合失調症をもつ人の看護過程(2)	レポート	精神看護学	新井講師, 山口助手, 大江准教授, 長山教授
後	12	12月23日(月)	3	講義	地域におけるケアと支援(1)地域生活を支えるシステムと社会資源		精神看護学	新井講師
後	13	1月06日(月)	3	講義	地域におけるケアと支援(2)地域生活を支える医療		精神看護学	長山教授
後	14	1月20日(月)	3	講義	特別招聘講演 精神障害者の生活体験・ピアサポーター活動の実際	レポート	精神看護学	新井講師, 山口助手, 大江准教授, 長山教授, 生田非常勤講師
後	15	1月27日(月)	3	講義	精神科医療／看護における様々な活動と看護の課題		精神看護学	大江准教授